

第 66 回神戸市中学校総合体育大会

バドミントン競技の部 要項

1. 日 時 令和 8 年 7 月 4 日（土）・5 日（日）

4 日：団体戦及び個人戦の一部 5 日：個人戦

両日：開場 8：45～ 男女共 9：00 までに受付を済ましてください。

※個人戦のみ参加の選手は 11:00 までに受付を済ましてください。11:00 以降は試合を入れています。BD のみの選手に関して初日は試合がありませんので、2 日目からの参加となります。

2. 会 場 両日とも 神戸市立中央体育館 メインアリーナ

3. 試合登録 ・個人の部…ダブルス・シングルスともに人数制限なし

同一選手が単複重複出場はできない。

敗者審判制ですので、出場者は審判ができるようにしておく。

※県予選通過

ダブルス … 男子 4 組、女子 6 組 シングルス… 男子 6 人、女子 13 人

・団体の部…1 校につき男女各 1 チーム（5～8 名の登録内で）

試合順は D1・S1・D2 で行い、同一選手の単複は兼ねられない。

※県予選通過…男女とも 2 校

4. 試合形式 この試合は、現行の日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規則に準じて行う。

○ 団体戦…全試合 15 点 3 ゲームマッチで行い、2 ゲーム先取した方の勝ちとする。

（どちらかの学校が初回戦の場合、結果が決まっても D2 まで実施）

試合の流れがどちらとも判断がつかないときは速やかに D2 を行い、勝敗が決すればそこで打ち切りとする。

○ 個人戦…女子シングルス 2 回戦までは、11 点 3 ゲームマッチ。

女子シングルの 3 回戦とその他の種目は 15 点 3 ゲームで行う。

・女子シングルス 1・2 回戦

※11 点ゲームのデュースは、最大 15 点までとする。ファイナルゲームのチェンジエンズは、6 点で行う。

※11 点ゲームはゲーム間のみインターバル（120 秒）

・女子シングルス 3 回戦以降・その他の種目

※15 点ゲームのデュースは、最大 21 点までとする。ファイナルゲームのチェンジエンズは、8 点で行う。

※ゲーム中に、一方のサイドのスコアが 8 点になったとき 60 秒を超えないインターバルを認める。1 ゲームと 2 ゲームの間、2 ゲームと 3 ゲームの間には 120 秒を超えないインターバルを認める。

※連続する試合の間は、10 分以内のインターバルを認める。

5. 使用シャトルについて

ヨネックス・エアロセンサ 700 の表示番号 2 または 3。

6. その他

・県大会は 7 月 28 日（火）・29 日（水）に行われます。

※会場 両日：神戸市立中央体育館

・県大会の抽選会は 7 月 20 日（祝・月）です。（副部長が代表で出席します）

そ の 他 注 意 事 項

1. 競技上の注意

- ・コールがあったら、3分以内にコートに入ること。入らなければ失格となる場合もある。
- ・選手は背中にゼッケンをつける。（校名、個人名入りで見やすいこと。）
- ・団体戦、個人戦ともに試合前の試合形式による2ミスを認める。
- ・主審の認めた以外の中断は一切認めない。汗ふき、ヒモの締め直しは審判に断った後とする。
- ・ベンチ入りできるのは、団体戦は監督(顧問)・代表者、登録選手、登録コーチ【クラブチーム】外部コーチ許可証所持者【学校】のみ。個人戦は監督(顧問)・代表者または登録コーチと1名(記録係)、あるいは選手2名まで。
- ・準決勝は原則同時にコールして行う。
- ・個人戦の3決は15点3ゲーム、順位決定戦は21点1ゲームで行う。

2. 審判上の注意

- ・敗者審判制です。敗者が主審をする。得点板は勝者がする（シングルスの場合のみ）。勝者が試合に入るため得点板ができない場合は、チーム内で代わりをつける。その際、チームの大人や高校生・小学生でも可とする。（1巡目の審判・得点板は本部が指名する。）
- ・試合を行った選手はそのコートで審判・得点板をする準備を整え、次の試合の選手を待つこと。
- ・試合の審判用紙は、試合の行う選手が本部より受け取り、試合コートまで持っていくこと。
- ・試合後、勝者は審判から審判用紙を受け取り、勝者サインを行う。
- ・審判が終了したら、その試合の審判用紙を本部まで持参する。
- ・敗者審判は主審名を記入し、線審の確認と対戦相手の名前を確認して審判を始める。
- ・厳正公正にその任務に当たる。特にカウントやアウトのコールははっきり大きな声で行う。
- ・競技規則に忠実に。サービス、フォルト、レット、プレー継続、不品行なふるまいなどに関する項目（条項）に精通しておく。特に下記の事項は、注意して審判をする。
 - ①故意のプレーの中断（審判に断らない汗ふき、靴ひもの締め直し）の禁止
 - ②インターバル以外の監督や応援者の指示や助言を受けることの禁止。
- ・サービスの際のフットフォルトやアバブザハンドなど最初は警告し、その後フォルトとする。
- ・シャトルの交換は主審の承認が必要。
- ・コートが汚れたり、濡れたりしたときの処置は主審の判断で。
- ・インプレー中に隣のコートからシャトルが入って、直接プレーヤーに影響があった、あるいは、ある場合はレットとする。
- ・いかなる場合も「抗議」や「異議」は認めない。質問のあるときは一応申し出る形で。
- ・生徒の敗者審判制であるため、トラブルも考えられるが、その時は本部の競技委員と審判長で判断する。
- ・線審の位置は正式ルールの対象線で行う。
- ・※試合に入る生徒は、必ずチーム内から線審を連れていく。もし、試合が重なりチーム内で線審が出せない場合は、他チームに依頼をする。それでも足りない場合、早めに本部に連絡する。
- ・線審は互いのベンチの反対方向に入り、ユニフォームか学校指定の体操服着用者に限る。
- ・線審は「イン」「アウト」の判定をのぞき込むように見て行うこと。

3. 会場使用上の注意

- ・シューズについては、フロアは室内用、それ以外の場所は、屋外用の使用を認める。
- ・フロア内での食事は禁止。
- ・ゴミは各自で責任をもって持ち帰る。カン類、ビン類の持ち込みは禁止する。
- ・利用させてもらっている最低限のマナー、エチケットは守る。（廊下を走らない等）
- ・駐車場や正面玄関前の広場ではアップは禁止。館内は最上段の廊下やスペースで可。
シャトルの使用は不可。
- ・選手は北側の正面入り口を使用する。
- ・貴重品は各自・各チームで保管する。
- ・昼食時間は特に設けないので監督の指示か、各自で考えて摂ること。
- ・中学生の大会であることを理解し、節度ある行動をとること。

4. その他

- ・ 試合前後の握手を行う。
- ・ 試合中は原則マスクをはずす。その他のマスクの着用は任意。各自で感染症や熱中症対策は行うこと。
- ・ 観覧席は各チームで指定された場所に座ること。
- ・ 競技フロアへの入場は限られた入口（北側）から行う。
- ・ 体調不良者は参加を見合わせる。
- ・ 選手に十分な水分補給を促す案内をする。
- ・ 館内は空調を入れるので、体温調節のできる服装を準備する。
- ・ 朝の練習割り当ては、個人戦のみ参加の生徒で、上記の 11:00 までに受付を行う生徒は参加しなくても構わない。参加する場合は、朝の時点で受付を済ませておくこと。
- ・ 敗者審判及び勝者サイン用に自分で筆記用具を用意しておくこと。
- ・ コートサイドの荷物用かごは設置しません。荷物は必ず袋に入れたり、自分で用意したカゴに入れたりするなどして 1 つにまとめ、汗のついたタオルやラケット、水筒などを直接フロアに置かないようにしてください。
- ・ コーチ登録者以外の保護者などのインサイドコーチは禁止する。
- ・ 団体メンバーの変更は、2 名まで認める。
個人戦は、すでにエントリーしたものについての変更はできない。
- ・ その他は監督会議において決定する。
- ・ 県総体の組み合わせは、県バドミントン競技部が定める組み合わせ優先事項によって実施されるため、地区順位がそのままトーナメントのシードに反映されとは限らない。